

第 5 回国際都市防災会議に参加し講演を行いました (2019/9/16)

テーマ：都市防災、1999 年集集地震、2011 年東日本大震災
場所：Howard Civil Service International House (台湾、台北市)

2019 年 9 月 16 日から 17 日にかけて、台湾台北市において、The 5th International Conference on Urban Disaster Reduction (ICUDR) が開催され、当研究所の村尾修教授 (地域・都市再生研究部門 国際防災戦略研究分野) が講演を行いました。

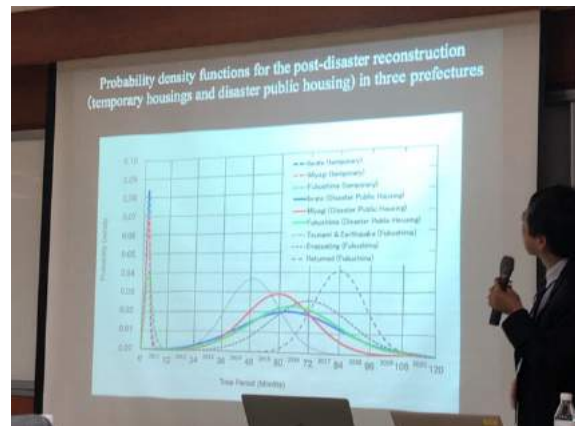
地域安全学会とアメリカ地震工学会 (EERI) は 1984 年から 2003 年にかけて計 7 回の日米都市防災ワークショップを開催し、連携を深めてきました。ICUDR は日米都市防災ワークショップを引き継ぎ、参加国としてニュージーランド、台湾、韓国を加え、2005 年神戸大会以降、数年おきに開催されています。今年は、集集地震 20 周年記念行事 (International Conference in Commemoration of the Chi-Chi Earthquake) の一環として行われました。今回は、台湾でおきた 1999 年の集集地震と 2009 年の台風 MORAKOT による被災からの復興をテーマに、これまでの活動や歩みに焦点が当てられました。

村尾教授の講演は、「Comparison of Post-disaster Recovery Curves for the 1999 Chi-Chi Earthquake and the 2011 Great East Japan Earthquake」と題して行われ、集集地震と東日本大震災における、被災後の復興曲線の比較について発表しました。

また、次回の The 6th International Conference on Urban Disaster Reduction (ICUDR) は、東日本大震災 10 周年を迎える 2021 年に仙台で開催されることが決定されました。



会場入口



村尾教授による講演



ディスカッションの様子



次回 ICUDR に向けて日米台の各学会の理事らと

文責：村尾修 (地域・都市再生研究部門)